

## 社会福祉学科

## 社会福祉 専攻

科目名: 心理学基礎実験			担当教員 氏名: 竹ノ山 圭二郎						
単 位	開講時期(年次・期)		科目の区分	授業方法	(卒業要件) 必修/選択	備考			
2	1年次	後期	専門科目	演習	選択				
実務経験を用いてどのような授業を行っているか:									
授業科目の学習教育目標の概要:					キーワード				
心理学実験の実践を通して、仮説を立て、実験計画を立案し、データを収集・分析し、論文として報告する専門的技術を習得する。					バイアス、実験の統制、精神物理学的測定法、心理尺度、独立/従属変数				
授業における学修の到達目標									
学習教育目標 (卒業認定・学位授与の方針との関連)			自己形成を進める行動目標 (福短マトリックスで示される番号)		3. 6.				
A 知識・理解力			心理学実験の基礎知識を身に付ける						
B 専門的技術			心理学実験を立案・実施する専門的技術を習得する。						
C 論理的思考力			人間の行動や心理について科学的に考える思考力を身に付ける。						
D 問題解決力			問題を同定し、仮説を立て、必要な情報を収集分析し、問題を解決できる。						
H コミュニケーション力			情報を的確にまとめ、わかりやすく説明できる						
成績評価の方法・基準: 以下の方法により評価し、学則および履修要項に従い、60点以上を単位認定とする									
テスト:	%	レポート:	100 %	発表:	%	実技試験:	%	その他:	%
特記事項: 実際に心理学実験を行いながら、得られたデータを分析し、論文スタイルのレポートにまとめるアクティブラーニングで学ぶ。									
アクティブラーニング要素:									
課題解決型学習    ディスカッション、ディベート    グループワーク <b>プレゼンテーション</b> 実習、フィールドワーク									
テスト・レポート・発表・実技試験等の実施時期: 10種の実験それぞれにレポートを課す(10%×10)。									
課題(試験やレポート等)に対するフィードバックの方法: 実験レポートを評価し、その都度返却する。									
使用テキスト: 指定テキストはありません。関連資料を授業時に配布しますが、レポート作成に必要な資料は、自ら図書館等で収集してください。				その他参考文献など: 心理学実験ノート編集委員会(著)心理学実験ノート第5版[二瓶社]; 西口利文・松浦均(著)心理学基礎演習vol.1心理学実験法・レポートの書き方[ナカニシヤ出版]					
受講上の留意点(担当者からのメッセージ): 「実験」を学ばずして心理学を学んだとはいえません。心理学教育の最重要科目です。心理学実験を体験し、実験技術を習得することによって、心理学の知識が生きたものとなります。アクティブラーニングで学びます。									
授 業 計 画					準備学習(予習・復習等)				
					学習内容	学習に必要な時間(分)			
回数									
1	心理学実験のオリエンテーション(実験の進め方・注意事項・レポートの作成方法等について)				参考文献など心理学実験について書かれた本を読む	30			
2	顔面フィードバック: 実験の実施								
3	(1)ミューラー・リヤー錯視: 実験の実施				錯視についての資料を収集し、錯視の実験レポートを作成する	180			
4	(1)ミューラー・リヤー錯視: データ分析								
5	レポートの作成指導				錯視についての資料を収集し、実験レポートを修正する	90			

※前ページよりつづき

社会福祉学科

社会福祉 専攻

科目名： 心理学基礎実験		担当教員 氏名： 竹ノ山 圭二郎	
授 業 計 画		準備学習(予習・復習等)	
		学習内容	学習に必要な時間(分)
6	レポートの改稿	錯視についての資料を収集し、実験レポートを修正する	90
7	(2)触二点閾:実験の実施	感覚測定についての資料を収集し、触二点閾の実験レポートを作成する	180
8	(2)触二点閾:データ分析		
9	(3)奥行き知覚:実験の実施	奥行き知覚についての資料を収集し、実験レポートを作成する	180
10	(3)奥行き知覚:データ分析		
11	(4)仮現運動:実験の実施	仮現運動に関する資料を収集し、実験レポートを作成する	180
12	(4)仮現運動:データ分析		
13	(5)心的回転:実験の実施	心的回転に関する資料を収集し、実験レポートを作成する	180
14	(5)心的回転:データ分析		
15	(6)印象形成:実験の実施	印象形成に関する資料を収集し、実験レポートを作成する	180
16	(6)印象形成:データ分析		
17	(7)記憶のメカニズム-系列位置効果:実験の実施	系列位置効果に関する資料を収集し、実験レポートを作成する	180
18	(7)系列位置効果:データ分析		
19	(8)無意識の情報処理:ストループ効果:実験の実施	ストループ効果に関する資料を収集し、実験レポートを作成する	180
20	(8)ストループ効果:データ分析		
21	(9)概念ネットワーク:プライミング効果:実験の実施	プライミング効果に関する資料を収集し、実験レポートを作成する	180
22	(9)プライミング効果:データ分析		
23	生理的指標(心拍)を用いた実験の概要	生理的指標を用いた実験に関する資料を収集し、実験デザインを作る	30
24	生理的指標(心拍)を用いた実験のデザイン		
25	生理的指標(心拍)を用いた実験のデザイン	生理的指標を用いた実験に関する資料を収集し、実験レポートを作成する	180
26	(10)生理的指標(心拍):実験の実施		
27	知覚と行為のアフォーダンス-「くぐり」と「またぎ」:実験の実施	アフォーダンスに関する資料を収集し、まとめる	30
28	知覚と行為のアフォーダンス-「くぐり」と「またぎ」:データ分析と考察		
29	パワーポイントを用いたプレゼンテーション資料作成	実験データを用いてパワーポイント・プレゼンテーション資料を作成する	30
30	パワーポイントを用いたプレゼンテーション技法		